

 ろうきん こくみん共済 coop
働く仲間のゆめ・みらい基金
 ~子どもは私たちの、ゆめ・みらい~

基金レポート **2021**



職場・ご家庭へ

本書は、沖縄の「子どもの貧困」の解決に向けて立ち上がった本気の大人たちの活動記録です。

CONTENTS

- ◆関係団体からのメッセージ P1
- ◆沖縄の子どもたちに「ゆめ」と「みらい」を P2
- ◆基金によせられた声 P3~5
- ◆働く仲間のゆめ・みらい基金活動報告 P6~11
- ◆労働福祉事業をつうじた社会貢献 P12~13
- ◆広がる支援活動の輪 P14~15
- ◆食糧支援取り組み報告 P16
- ◆マルイチゴウマル0150ゆめ・みらい運動から明るい未来を子どもたちへ P17



感謝をこめて



公益財団法人 沖縄県労働者福祉基金協会
理事長 東盛 政行

2016年10月に「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」の運営事務局を沖縄県労福協が担って5年目を迎えます。

労働組合をはじめ多くの会員・協力団体と共に「公助」で補えない部分を「共助」で支援することで「子の貧困」の根本的な問題である「親」の労働世代について子の就労支援や生活基盤を安定させるため改善・解決に向けた取り組みを行ってきました。

2020年度「ゆめ・みらい基金」への寄付状況については、個人寄付金や団体寄付金、ろうきん社会貢献寄付商品拠出金、こくみん共済coop社会貢献寄付商品拠出金、こくみん共済coop指定整備工場協議会等から1,027万円余の寄付をいただきました。あらためて感謝申し上げます。

昨年度取り組みました食料支援などの緊急支援策については、新型コロナウイルスの感染拡大が長期化し雇用経済や生活に大きく影響を与える中で、休業等を余儀なくされた生活に不安のある養育世帯等に対して支援を行ってきました。

また、緊急的な助成支援が必要とされる申請についても基金運営委員会に諮りつつ、内容を適切に判断して実行できるよう対応することにしています。

このように子どもたちが夢をあきらめず「働く」につながる基本方針のもと、共助・共感による共生社会の実現に向けて引き続き取り組んでいきます。



日本労働組合総連合会 沖縄県連合会(連合沖縄)
会長 東盛 政行

日本の子どもの貧困率は、OECD加盟34か国中29位、子どもがいる現役世帯のうち、大人が一人世帯の相対的貧困率は最も高くなっています。また、親の貧困が次世代に引き継がれる「貧困の連鎖」の問題があり、断ち切ることが急務となっています。

沖縄県の「子どもの貧困実態調査」によれば、沖縄の子どもの貧困率は29.9%と、全国の約2倍、3人に1人が貧困状態にあるという極めて深刻な状況が明らかとなっています。

また、新型コロナウイルス感染症が、不安定雇用で働く方々へ大きな影響を与えており、子ども・子育て環境は、より厳しさが増えています。

このような現状のなかで、「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」の果たす役割は非常に大きいものがあり、支援を受けた方々からの声を見聞きするたびに、更なる充実が必要と痛感しているところです。

連合沖縄は、引き続き、構成組織・組合員に対し「ゆめ・みらい基金」の意義と加入拡大を訴えとともに、更なる支援の輪を広げてまいります。



こくみん共済 coop<全労済> 沖縄推進本部
本部長 大庭 雄一

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」は、沖縄県内で社会的課題となっている「子どもの貧困」や、その根本的な問題である「親の貧困」の解決・改善に向けた自立支援の活動を通じて、確実に共感の輪が広がっています。

こくみん共済 coopは、創設以来、共済の普及と社会問題の解決に取り組み、「みんなでたすけあい、豊かで安心できる社会づくり」をすすめてきました。

沖縄推進本部においても、基金の取り組みについて幅広く告知活動を行ったことにより、組合員、協力団体の皆さまのご理解と共感が広がり、各種共済の新規契約が前年度より増加し、結果として基金への寄付金額を増やすことができました。

また、こくみん共済 coop<全労済>指定整備工場沖縄県協議会においては、引き続き基金の取り組みに賛同いただき、全工場による取り組みの継続に加え、車検入庫1台あたりの寄付金額の見直しにより、当初予定をはるかに上回る寄付を行っていただきました。

こくみん共済 coop<全労済>沖縄推進本部は、2021年11月に創立50周年を迎え、「ありがとうの50年 これからも人と人の支え愛」をテーマに活動を展開します。「たすけあいの輪」をさらに広め、沖縄の子ども達が「夢」や「希望」を持ち、明るく輝いた未来に向かって健やかに成長することを目指して、引き続き基金の活動を積極的に取り組んでまいります。



沖縄県労働金庫
理事長 高良 恵一

「基金レポート2021」をご覧の皆さん こんにちは！

日頃から、本基金へのご理解とご協力をいただいています仲間の皆さんに、心からの感謝と敬意を表しますとともに、変わらぬご支援を賜りますよう強くお願い申し上げます。

長引くコロナ禍の影響により、社会的に弱い立場の方々がいち早くダメージを受けるという地方課題や経済構造の脆弱さが浮き彫りとなり、公助としての緊急的セーフティネット施策の発動が求められるものの十分なものではありません。その影響は子どもたちのゆめ・みらいにも及びます。「今こそ『求められる支援』に丸で取り組む時！」です。

この社会情勢を支えるすべての働くみなさまへありがとうの気持ちを込めて「ろうきん」では、「55周年記念 今こそ生活応援！金利引き下げキャンペーン」を実施しています。低金利の社会貢献寄付商品を利用していただくことで本基金への寄付金拠出につながり、また、コロナ禍における家計支援として、「意志ある優しいお金の循環」が生まれます。

「ろうきん」は、社会貢献に取り組む仲間の皆さんと共に労働者福祉事業を通して「働く仲間のゆめ・みらい基金」の強化をめざします。ささえ・まもる・つなぐを「共」につくりだしていきましょう！

沖縄の子どもたちの 「ゆめ」と「みらい」へ

子どもたちにとっては、自分を好きと言える環境が必要

子どもたちの、今

沖縄県が公表した子どもの貧困の背景を調べる「2020年沖縄こども調査」では、困窮世帯ほど父母ともに不安定な職で長時間働く割合が多く、抑うつや不安感が強まる傾向がありますが、時間的余裕がないことから公的機関への相談が少ない実態や、新型コロナウイルス感染症の心理的影響により慢性的な疲労を感じ、子どもに対して感情的に怒鳴る等をしてしまう割合が高くなる傾向がある調査結果となっています。

コロナ禍で勤務先の休業等により子どもと過ごす時間は増えたものの、困窮世帯の家計はひっ迫し、食糧品や衣料品が買えなくなる状況に陥ることや、医療機関を受診できない傾向が高い現状にあります。経済的な理由により大きなリスクを抱えざるを得ない沖縄の子どもたちの割合の高さは際立っており、生活や教育を取り巻く厳しい環境が本報告書等にも表れています。

働く仲間の、今

沖縄県の「子どもの貧困」の背景にある特徴は、「高い非正規雇用率」、「長時間労働」、「低賃金」など、労働者を取り巻く厳しい現実があります。「子どもの貧困」の解消には、労働世代である「親」の経済・生活基盤を安定させるための、「働くにつながる」、「収入向上」などの支援が必要であることや個人が抱えるさまざまな困難に寄り添い解きほぐすためには、それぞれに合わせた伴走型支援の取り組みが必要です。

子どもたちが「ゆめ」をあきらめない社会へ

〈(公財)沖縄県労福協〉、〈連合沖縄〉、〈こくみん共済 coop(全労済)指定整備工場沖縄県協議会〉、〈ろうきん〉、〈こくみん共済 coop(全労済)〉は、「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」を通して、会員・協力団体、そして県内の各労働団体と共に、「貧困の連鎖」を断ち、子どもたちの夢と未来を支えるための取り組みを協働で取り組んでいます。

共助・共感による共生社会の実現に向け、全県的な運動をめざし取り組みを進めています。

基金による支援の柱

「子どもの貧困＝親の貧困」の改善、解決に向け、以下の「働く」につなげる支援に取り組んでいます。

養育する子がいる世帯の親などへの
就学・就労支援および生活支援等

親(世帯)の収入の安定化へ

職業資格取得等にチャレンジする就学生
(職業高校等の高校生)への支援

資格を持つことによる
希望職種(夢)への就職支援

児童園等福祉施設
退所者への自立支援

社会に羽ばたく際の公的支援が
及ばない部分のサポートなど

基金によせられた声



支援を受けた方から



今回 ゆめ・みらい基金の給付を頂き
本当に有難うございました。
離婚して いちかわり直そうとした矢先
コロナウイルスにより 収入が激減し 2人の子供を育てるのに
生活に困っていた為 本当に助かりました
支援して下さいた方々 制度を作ってくれた方々 関心してくれている方々に
感謝の気持ちでいっぱいです。
これから子供達をきちんと育て 社会に貢献できるように
がんばってまいります。
有難うございました。



拝啓

秋麗の候、貴協会の皆様におかれましては、お変わり
なくお過ごしでしょうかと思います。

この度、「子ども・ゆめ・みらい基金」から20,000円の
給付をいただき、ありがとうございました。

母・私・妹の3人で、頑張っ生活して、日々母の
頑張りに感謝しています。土木・建築系の資格を取
得するためには、高額なお金が必要で、資格を受け取る前
に諦めようとしていました。

しかし、将来のためだと思い母と相談し、受験する
ことにしました。

これから 資格取得を頑張る、重機等が扱える
保育士になって、園児や園で、ガーデニングや花壇造り
等できたいと思っています。



「生活が厳しく今年から小学校1年生に上がる息子のランドセルを買
うお金がない」と支援員さんに相談したら、「ろうきん働く仲間ゆめ・
みらい基金って言うのがあるけど申し込んでみる？」と言われ、すぐ
思いで申し込みました。

数日後（申し込み後、早かった）「ランドセル買えるよ」と支援員さん
に言われ一つ心配事が解決できた安心感と嬉しさで、その日の夕方息子
に伝えると「やったー！」と大喜び「どんなランドセルが良い？」と
ネットを開きました。翌日、就労の職員さんの協力を得てネットからラ
ンドセルの注文を行いました。また、体育着の購入、学校に支払う学
用品の支払いも「ゆめ・みらい基金」で用意ができました。

本当にありがとうございました。安心して4月9日の入学式を迎えら
れます。



支援を受けた方から



母子家庭で家計が苦しい中、自身や家族の病気が続き、医療費の支払いに苦悩しておりました。

家計の中で医療費が占める割合は大きく、かと言って、家計の為に通院を控えると、結局悪化して余計に治療費が多くなります。次第に家賃の支払いが滞るようになり、その延滞金も負担となって長い間、この悪循環に頭を悩ませていました。

そんな状況を打破したいと、パーソナルサポートセンターで相談したところ、教えて頂いたのが、この「ゆめみらい基金」です。

丁度アパートの更新の月で、更新料が家賃に加算され、大きな出費となるはずでしたが、基金のおかげで無事に支払いを済ませる事が出来ました。じつは感謝申し上げます。

住む場所のバリエーションがなくなると、じつは不安定になります。生活を今一度見直し、家族と自身の体を気遣いながら、一層仕事に励んで状況を立て直していきたいと思っています。

きっかけを作ってくれた皆様、本当に有難うございました。



去年度、離婚成立となり諸手続きを進めておりましたが、想像を超える慌ただしさとお金がかかり、この基金をご利用させていただきました。母子手当もまだ発生しない中で、いかに働いても収入だけでは生活が回らないのではないかと不安な気持ちでいた所、生活支援の方々からこの基金もご紹介いただき大変助かりました。迅速な現金での支給という形であった事にも、大変ありがたき思い、早速利用させていただきました。母子手当も支給が始まりましたので、今後も仕事と子育てに励み、楽しく幸せに過ごしていく事が助けていたのだなみな様に恩返しが出来たら、と考えております。

本当にありがとうございました。



自分は、わけあって、実家をでて、仕事をしながら学校にかけこみ、ただけで家賃、光熱費、学費と、自分のせう給料以上に、支払いがあり、学校へのお金も足りず、やめようかとまで考えていました。そんな時担任の先生が提案してくれ、ゆめみらい基金の支援を受けることができました。そのおかげで、私は、これから学校へかけこみ、生活をよりよい方向へと進むことができそうです。なので、ゆめみらい基金の支援員の方、担任の先生、学校の支援員の方、みなさんにとても感謝しています。ほんとうにありがとうございました。この支援をまたにしたいよう、これから、もっと頑張りたいです。



ゆめみらい基金の給付金ありがとうございました。

私は、産後に入り口入が口になり、お産費用が一時屋よりうまかったのと、産後、乳腺炎になり2度の入院・退院を繰り返して、入院費の支払いに困っていました。

とても困っているところ、芳子さんのゆめみらい基金の給付金を頂きとても助かり、前向きに生活する事ができ、皆様のおかげで私たちは、金銭面、精神面とても救われました。

本当にとても感謝しています。ありがとうございました。

私達、家族を支えてくれたパーソナルサポートセンターの方々とゆめみらい基金には本当に本当にありがとうございました。



支援機関の方から



ゆめ・みらい基金の給付決定ありがとうございます。
基金のおかげで相談者だけでなく、その家族、お子様が
安心して新高校生生活の一步をふみ出すことができました。
相談者の表情が初回面談時に比べて
明るくなり、心も開いてくれるようになりました。
基金を運営する関係者のみなさまへ心から感謝、
申し上げます。

公的機関ではなく民間の機関がこのような
夢のある基金を創設していることが、心おおく
してくれます。支援員として基金の力になれるとずっと応援
します。



この基金を活用させて頂いた方は、夫からのDVが原因で離婚、肩身の狭い思いを
しながらも先立つものがないので、実家で子供達二人と生活しています（親子共に
障害があり、これから先も関係機関で支援が必要な家族です。）

障害年金申請中に伴い児童扶養手当の支給停止、就労継続支援B型の工賃と子供の
児童手当のみで毎月の生活が厳しい状況です。今回、子供の入学の準備金の件で相
談を受け何か良い方法はないかと探していたところ、以前「ろうきん働く仲間のゆ
め・みらい基金」でお世話になった事例を思い出し、担当者に問い合わせたところ
このケースが対象になる事を確認後本人に伝えました。

担当者の方の迅速な対応有難うございます。

これから先もご家族が安心して生活出来る様に多種関係機関と連携をとり支援し
ていきたいと思っています。



今回、突発的な出費が重なったこと、手当の受給日
の見通しが立たないこと、また年末だったこともあり、
申請者の方はとても不安に感じていました。

その中でゆめ・みらい基金の給付金はご家族の
みなさんの安心につながったと思います。給付金の受取
がクリスマスの日だったので、「これで安心してクリスマス
ができるね。今年は無理だと思っていた」とお子さんと
笑いあっていたのが印象的でした。

ゆめ・みらい基金の給付以降、安定した生活に向け
てサポートを受けながら前向きに動いていらっしゃいます。
これも年末の忙しい時期にも関わらず早急に対応して
頂いたゆめ・みらい基金のおかげです。ありがとうございます。



父子家庭への支援として、関係機関（子どもの貧困対策）からの要請でした。

当初はお父さんとの面談も出来ず、子ども達の栄養状態や学校での生活態度
に不安を感じていたとのことです。そんな中、今回、ゆめみらい基金を決定して
頂いたことで、お父さんとの話し合い、関わりが出来ました。家計を見直すこと
で意識するようになり、現在、お父さんから電話連絡をもらい面談をする流れが
出ています。

また、子どもたちも休みがちな無料支援塾への通塾が継続出来ている様
子が見受けられます。学校でも落ち着いて過ごしているとの声も聞こえてきま
した。次回給料日までの繋ぎとして基金を利用し、お父さんが、気持ちに余裕を
持って過ごすことで世帯が安心して日常生活を送っていく様子がはっきりと感
じ取れます。今後の世帯の支援の継続のきっかけとなった今回のゆめみらい基金
の利用は大きな一歩だと思います。対応して頂いた関係者の皆さん本当にありが
とうございました。



基金活用による支援取り組み事例

事例1 生活安定化支援

引っ越し前のアパートの家賃と修繕費、ひとり親支援事業との連携

申請時の状況

- 本人と長男・長女の3人世帯。
- 長女は乳幼児期から情緒面に不安がある。新入学時期と新型コロナウイルスの影響が重なったことで不安定な時期もあったが、現在は笑顔で学校に通えている。
- 本人も体調不良が続いている中で自身のペースで働ける仕事をしていたが、新型コロナウイルスの影響により収入が激減。
- 養育費も受け取っておらず、育ち盛りの子どもたちの食費や借入金の返済で家計が苦しい。
- ひとり親の住居支援を受け、支援居室に入居できたが、以前住んでいたアパートの日割り家賃と修繕費の支払いができていない。
- 基金申請により日常生活の安定化を図り、親子の安心した生活を取り戻すために申請を希望。

その後

- 生活が安定して、本人と子どもたち共に安心して暮らすことができています。
- 仕事に活かせる資格を取得するなど収入増へ前向きに動いている。
- 本人より「これから子どもたちをきちんと育て、社会に恩返しできるようにがんばっていこうと思います」とメッセージが届いた。

事例2 生活安定化支援・子どもへの支援

光熱費や生活費、子の通学費等の支援

申請時の状況

- 本人、夫、長男、次男、三男の5人世帯。
- 夫は離職を機に、漁師として再就職を目指し、家族で沖縄へ移住。移住後、新型コロナウイルスの影響を受け採用が見込めた就職先も不採用となった。
- 預貯金もなく生活苦となり、社会福祉協議会の貸付と住居確保給付金を利用。
- 前向きな就職活動もあって無事、漁師として就職が決まる。
- 同期間、本人は、持病の治療のため手術を行い、主治医指示により、自宅療養となる。
- 三男は来沖後すぐに認可保育園を申請するも現在は待機児童である。次男は発達障がい疑いがあり、スクールソーシャルワーカーの支援を受け、療育手帳の申請手続中。特別児童扶養手当の手続きも同時に進めている。
- 夫の就職が間もないため、収入が児童手当のみで生活が厳しい状況。初回給与までの生活費や光熱費、子の通学費やおむつ代を基金にて確保し、本人の不安軽減と生活安定に繋げたい。

その後

- 光熱費も支払いができ、精神的にも安定している。
- 三男の保育園も入所が決定し、自立に向けて前向きに進んでいる。

事例3 就職活動支援・生活安定化支援

就労開始、初回給与までのつなぎ支援

申請時の状況

- 本人、娘の2人世帯。
- 会社都合により退職。家賃滞納があり今月支払わなければ退去するよう言われている。
- 最後の給与は、出勤が少なかったため4万円程度しかなく家賃にも満たない。水道光熱費も1ヵ月遅れで支払いをしている。
- 本人はうつ病を患い通院しているが、主治医からは就労に関する制限はない。
- 娘は中学のときいじめが原因となり不登校、高校へ進学するも中退、現在アルバイトにも行けていない。現在、娘の状況を見ながら必要な支援を行う。
- 支援機関のサポートもあり、住居確保給付金の受給と失業手当も待機期間を待たずに受給。失業手当から水道光熱費や携帯代の支払いに充てることができた。
- 意欲的な就職活動の結果、内定が決まったが、就職先へ提出が必要な健康診断費用の工面と初回給与までの生活費が足りない状況。本基金申請することで生活安定に繋げたい。

その後

- 初回給与が出たことで生活が安定し、精神的にも落ち着いている。
- 本人より「ガスが止まって料理ができなくなっていたこと、冷たいシャワーで困っていたことが解消されて本当にありがたかったです。お金の不安や精神的な面も落ち着いて、いろいろ頑張っています」とメッセージが届いた。

事例4 子どもへの支援

子の入学準備用品に伴う生活支援

申請時の状況

- 本人、妻、次女、三女の4人世帯。長女は県外の大学に在学中。
- 夫婦共働きで生計を立てていたが、夫婦ともに新型コロナウイルスの影響を受け収入が減少し生活困窮に陥った。
- 長女へは毎月生活費の仕送りを行っていたが現在は滞っている。学費は奨学金を利用。
- 次女は、県外の専門学校に奨学金を利用し入学したが、入学後すぐに自転車事故に遭い通院・リハビリが必要となり退学。奨学金の債務が残った。
- 各種制度の活用を行ったが、三女の高校入学に掛かる制服代、教科書代等の工面ができない状況と一部ライフラインの滞納がある。
- 基金を申請し、子が安心して高校生活をスタートし、世帯のライフラインを確保することで、安心した生活が送れるように繋げたい。

その後

- 無事に制服や教科書を購入でき、高校生活の一步を踏み出すことができている。
- 本人も最初に会った時よりも、表情が明るくなり、支援者へ心を開いてくれるようになっている。

事例5 移動手段・通信手段

通勤での移動手段・就職活動支援としての通信手段

申請時の状況

- 本人、長女、長男、次男の4人世帯。
- 本世帯は平成30年に離婚。
- 本人は運転免許や連絡手段がなく、コンビニのアルバイトで生活費を捻出している。
- 子が近隣住民の車に傷をつけ賠償金が発生した為、経済的に厳しい状況。
- 本人は、より安定した仕事に就き、生活基盤を整えたいと希望あり。
- 保育園の送迎や通勤の移動手段として自転車や、就労支援機関を含む関係機関・就職先との通信手段としての携帯電話は必須であり、自立した生活に繋げたい。

その後

- アルバイトを続けており、発生した賠償金は継続して返済しながら生活安定を図れるよう努力している。

事例6 就学と子育ての両立

スクーリング時の一時預かり支援

申請時の状況

- 本人、長男、母親、姉の4人世帯。
- 平日はパートで経理事務の仕事をしており日曜日にスクーリングを受講中。
- 長男は平日、無認可保育園に預けている。
- 母親はパート(シフト制)でのスーパー勤務、姉はアルバイトのため、預かりは厳しい。
- パートナーは県外にいますが、パートナーの親から入籍を反対されている状況。
- 現在の勤務先から、高卒資格が取得できれば正社員として雇用したいと言われている。本人も正社員になることを目標にしておりモチベーションも高い。
- 卒業資格取得の支援を行うことで、本人の増収や生活安定に繋げたい。

その後

- 現在通信制課程3年であり、順調に単位取得に励んでいる。

事例7 職業高校・資格試験

高教組との連携

申請時の状況

- 本人、両親、妹4人の世帯。
- 父親が自営業を営んでおり収入が不安定。母親がパート勤務し、家計を支えている。
- 高校へは遠方から進学しており交通費の負担も大きい。
- 入学時より学習意欲もあり成績優秀、日々の清掃や委員会活動などもまじめに取り組んでいる。
- 資格取得に関心があるものの試験費用が家計の負担になることから諦めかけている。
- 本基金にて支援することで、チャレンジ精神の向上、仕事の選択肢を広げ、自信をもった就職活動に繋げたい。

先生方からの声

- 資格取得を積極的に行っており、将来の就職の選択肢も増えた。
- 本人より「受験料が高くて資格を取ることができませんでしたが、この基金を知って積極的に挑むことができました。これからいろいろな資格を取れるように頑張ります」とのメッセージが届いた。

「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」組織的支援機関※向けアンケートより皆さまからの声(一部抜粋)

※組織的支援機関とは、本来業務として継続的な就職・生活支援をしている機関・組織です。基金の利用は相談者の自立まで支援を行うことを前提に、組織的支援機関との共同申請が必要です。

1 活用前後で自立に向けて改善しましたか？

① 改善した	34
② 改善していない	0
③ その他	2
合 計	36

【⑦その他】と回答した方たちの状況

- ◆ 子供預かりを使い両親の負担を軽減することができた。
- ◆ 保育料滞納がなくなった。
- ◆ 転職による増収
- ◆ 修正申告に向けた具体的な方針ができた
- ◆ 子ども預かりを活用し、学校へ通う事ができた。
- ◆ 滞納している家賃を支払ったことで精神的に安定し就職活動にも更に意欲的になった。
- ◆ 高校へ通いながら家族の生活を支え高校卒業を諦めざるを得ない状況であったがバイトをしながら家を出て自立を考え高校卒業を目指すこととした。
- ◆ 一番の心配事であった支払いがゆめみらい基金にて対応できたので精神的に落ち着き、安心して年越しができたようです。

2 改善したと回答した方へどのような状況でしょうか？(複数回答可)

① 就職して生活が安定している	6
② 増収している	6
③ 就職しているがまだ厳しい状況	5
④ 就職活動中	0
⑤ 資格を取得した	9
⑥ 子が進学し通学中	3
⑦ その他	11
合 計	40

- ◆ 子ども預かり支援を使い高校卒業認定を取得する為高校へ通う事が出来た。
- ◆ 健康保険(国保)加入前に病院受診することもあったようですが、ゆめ・みらい基金の受給があり、精神的にも助かったようです。
- ◆ 弟世帯から公営住宅へ引っ越しをし実家療養中であつた妻とも同居を再開できたことは、家族揃って生活を共にすることを楽しみにしていた子らの気持ちを前向きに変化させ、不登校気味であつた学校への通学も再開できた。
- ◆ 妻が障害年金を受給した。第3子も保育園、入園が決まった。
- ◆ 養育費と児童扶養手当の受給も開始となる。
- ◆ 4月9日の小学校入学式に向けランドセル、体育着、学校に支払う学用品代の準備ができ安心して当日を迎える事ができます。

活用者の声

【生活安定化支援】

- ◆ 助かります。ありがとうございました。
- ◆ 生活が厳しく困窮している中、この基金のお陰で助かりました。生活を安定させ、これから恩返しできるよう頑張ります。
- ◆ 就職が決まっていたが最初の給料までの間、家賃の支払い等、厳しかったのでとても助かりました。
- ◆ ゆめ・みらい基金申請時には光熱水費をかなり滞納しており止められる寸前だったため、滞納がすべて解消でき助かった。
- ◆ これからは滞納することがないように家計表をつけて収支のバランスをみていきたいという気持ちになった。
- ◆ 滞納していた校納金を支払い辞めようと考えていた学校も通えるようになり、より良い方向へと進むことが出来、支援してくれた方々に感謝しています。
- ◆ 一時的な収入減だった為、現金を補填できたことがすくいだった。
- ◆ まとまったお金が入り滞納分を一度に支払いできた為家計の立て直しができた。(光熱費等)
- ◆ ゆめ・みらい基金の決定後、国保に加入もでき医療費の払い戻しもできました。就職も決まり、これから頑張っていこうと思っています。
- ◆ 子育て中の家賃の不安がなくなった。
- ◆ たくさんの関わってくれる人や支援の手段、基金があつて感謝している。
- ◆ 目標をもって進学した子供を母親だけでは、支えきれない状況だったので感謝しています。

- ◆ 働きたくても、家族の健康状態からすると厳しい状況が続いている。基金を活用できたら、又一緒に暮らすことができそこから立て直しを図れる。
- ◆ とても助かりました。ありがとうございます。



【子どもへの支援】

- ◆ このままでは、家庭内保育に変えなければならず、(保育園の退園)精神疾患のある妻の負担が増え大変な事になるところでした。多くの問題を抱えている中、継続して保育園を利用出来てホッとしています。ありがとうございました。
- ◆ 本当に、助かりました。
- ◆ 子供の入学準備をしたくても、少ない就労の工賃と2人の子供の児童手当だけでは日々の生活費に消え、ランドセルを買ってあげたくても買ってあげることが出来なかったのでランドセルが届いた日の息子の喜ぶ顔を見て本当にありがたいと思いました。
- ◆ 滞納していた光熱費等を支払えてとても助かりました。
- ◆ 中学生生活は不登校気味でメンタルの不調もあり、遠距離の高校への通学が続くのか心配だったが、準備が整い良いスタートをきれたことで、現在も楽しく通学できている。

【就学と子育ての両立】

- ◆ 一時預かりで高校へ通う事ができ、卒業ができた。又福祉の専門学校をめざすことができる。
- ◆ 祖母の介護の為両親に預けられなくなった為休学を考えていたが、一時預かりを活用させてもらい、学校に通える事ができた。

- ◆ 高校卒業認定を取得し、自身の目標である、車のディーラー、整備の勉強を行っていきたい。
- ◆ 高校認定を取得し自身の目標である専門学校へ進むことができた。
- ◆ 「どうしようか」と毎日眠れなかったが、給付決定して頂き本当に助かった。頑張っていきたい。

【職業高校・資格試験】

- ◆ 資格が取れたのでよかった。
- ◆ 資格取得する際に試験の検定料が高額だったので、ゆめ・みらい基金さんを活用できて良かった。



支援機関からの声

- ◆ 基金活用をきっかけに、世帯事情が明らかになり、生活保護の申請に至った。
- ◆ 金銭的、精神的にも安心したと仰っていました。
- ◆ 家賃滞納(1ヵ月)が長い間続いており毎月の手数料も負担になっていたが、ゆめ・みらい基金で解消でき気持ちも楽になったとのことでした。
- ◆ 素早い対応、感謝しております。お陰で申請者も大変助かっております。
- ◆ スクーリング時の一時預かりを行うことで、本人の将来にむけての応援が出来た。
- ◆ 児童家庭課では、金銭給付のサービス等がない為、給付を受けられたことで支援員としてもとても助かりました。
- ◆ 高校卒業認定を取得し、専門学校へ行くという事への後押しができた。
- ◆ 相談者にはまだ幼い子どもがおり、オムツ代も支払う事が厳しい状態でした。ゆめ・みらい基金の活用と自己破産により生活が安定してきたと思います。
- ◆ 家賃滞納は居所を失う恐れがある為、不安も大きいと思います。ゆめ・みらい基金によって家賃滞納を解消できたことにより、問題が1つ減り相談者に笑顔が見られたことをうれしく思います。
- ◆ 食料・税・法律など、他制度で対応できる事はあっても意外と子どもに関する支援は方法が無く困ることも多いです。今回、こういった形で保育の継続に繋がって本人・家族はもちろん役場、保育園そして私達自立支援員も安心しました。この様な制度では、対応できない所をフォローしてもらえとても良かったです。
- ◆ スクーリング時の一時預かりを行う事によって将来の夢に向かって頑張る人を応援できるゆめ・みらいは、素晴らしいです。
- ◆ 生活再建の目途が立ったことで表情がよくなり気持ちも前向きになってもらえたことで受給ができてよかったとおもいました。
- ◆ 就学と就労をしながら家計を支えていたが学費が滞っていた。ゆめ・みらい基金を活用し校納金を支払い高校卒業を目指すことが出来安定した生活に向かうことができた。
- ◆ コロナでの減収や予定外の出費で年末不安を感じていた方々にこちらの基金で安心して年越しが出来てとても良い活用であったと思いました。
- ◆ 専門学校へ試験を受けることが出来、就職選択肢の幅を上げられた。
- ◆ 早い対応と一時的に救済することで相談者様の精神面も支える事が出来、以降の話し合いや、親子間の関係性へも影響があった為、継続的な支援のきっかけになり心から感謝しています。
- ◆ 子どもの居場所にも変化有り、子ども達が安心して積極的に通塾できているそうです。
- ◆ 住居確保給付金を申請したとしても家賃のみで生活費がない為、就職活動を行う上で経済的不安が軽減され、とても助かっています。
- ◆ ひとり親で離職後の無保険時期で、子の病院受診だったので、不安だったと思いますが、迅速に対応して頂き助かりました。どうもありがとうございました。
- ◆ あらゆる制度を活用する中で、隙間の支援として基金を活用できて助かりました。

- ◆ 子の進学、自身の病気、離婚などのライフイベントに丁寧に関わる事ができるツールがあって、支援者も安心して対応できると思いました。
- ◆ 他の制度で対応できない状況で働く仲間のゆめ・みらい基金を紹介することができ助かりました。
- ◆ 金額の高い資格にも挑戦できるので助かるなあと思いました。生徒の可能性があがるので。
- ◆ 資格取得するには、練習をする為の材料や試験を受ける為の費用が大きく子供達が、チャレンジをためらう要因となっている。支援を行うことで可能性を広げることが出来て本当に感謝している。
- ◆ 自宅にPCが無く、購入も出来ない状況で就職活動をされている方へ貸し出し、大変助かっている。
- ◆ コロナの影響で、転職を余儀なくされた方が就職活動する際に、PCスキルを求められる事が多く、スキルアップに大変役立っている。具体的に言うと、センターでPCセミナーは実施されており、1～3回程度レベルによって受講は出来るが、少ない回数であり、定着にはどうしても自主練習が必要となる。その際に貸し出しのPCは大変役立っている。貸出の回数は70回をこえていて、現在の台数でも順番待ちをしている状況。利用頻度は高い。またそれだけの貸し出しをしても、これまで1件も損傷などのトラブルはない。利用者の方も大事に使っている事が分かる。履歴書や職務経歴書の作成に活用させて頂いている。
- ◆ 活用者を取り巻く困りごとは一つにとどまらず複雑化しており、特に生活資金を得る為には働かなくてはならないことを、本人は重々感じる中、各相談機関から寄せられる画一的なアドバイスだけでは解決に至ってこなかった。ゆめみらい基金を活用し支援機関同士が連携を図るきっかけになったことは、他にはない策だと感じました。
- ◆ ぜひこの支援を続けて頂きたいです。他の支援をしてもまだ厳しい状況の方を助けて頂いています。有難うございます。
- ◆ 基金活用により、支援に繋がった。
- ◆ 資格試験を希望する生徒が増えていますが、家庭環境等の事情で受けられない生徒もいるのでとても助かります。
- ◆ タイミングよく話を聞く機会があり、母子で地域で頑張っている姿をみて支援できたらと思い申請し、短期間に決定できたので大変嬉しく思っています。
- ◆ 金銭面で悩んでいるお母さんの表情を見ていて何か良い方法はないかと思案しているところ、前回社協で支援していた方の事例もあり相談させて頂いたところ担当の方の迅速な対応にとても感謝いたしました。
お母さまのホッとした顔、お子様の喜ぶ顔が見れて今後も多くの方の相談に寄り添い支援していきたいと思いました。
- ◆ 色々な支援を行い、あと少しで立て直せそうな時で困っていた所、ゆめ・みらい基金を活用させて頂き、申請者が喜んで前向きになりました。支援者としてもとても助かりました。有難うございました。
- ◆ 昨年度ゆめ・みらい基金を活用させていただき、苦しい時期を乗り越えられた相談者が涙ながらに「救われたこと、今はとても幸せだ」と報告にいらしてました。そして自分も今苦しんでいる人のためにできることをやりたいと、食糧提供して下さいました。あたたかい想いがつなげていくことに、支援員として胸があつくなりました。

☆ 2020年度「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」収支報告

(2020年4月1日～2021年3月31日)

基金の残高

【収入】

項 目	金 額	内 容
前期繰越金	18,808,376円	
団体寄付金	1,539,944円	各労働組合様より
個人寄付金	4,512,028円	0150ゆめ・みらい運動(定額自動寄付)等
ろうきん社会貢献寄付商品抛出品	1,465,000円	
ろうきん わしたシマづくり運動	985,504円	
こくみん共済coop推進本部社会貢献寄付商品抛出品	1,351,300円	
こくみん共済coop指定整備工場沖縄県協議会	408,900円	各指定整備工場の車検入庫分
前年度返金分	108,463円	
合 計	29,179,515円	

【支出】

項 目	金 額	内 容
(使途別)		
①移動手段	30,000円	3件
②通信手段	0円	0件
③資格取得	0円	0件
④就職活動支援	0円	0件
⑤就労開始・初期	0円	0件
⑥生活安定化	1,405,958円	24件
⑦子育てと仕事の両立	0円	0件
⑧子どもへの支援	811,914円	15件
⑨就学と子育ての両立	2,109,160円	11件
⑩職業高校・資格試験	380,229円	38件
⑪その他(助産費滞納)	0円	0件
⑫移動手段(貸出)	0円	0件
⑬通信手段(貸出)	0円	0件
⑭パソコン貸出支援	228,360円	3件
⑮コロナによる緊急食糧支援	968,166円	支援機関へ米・缶詰類の配布、支援機関21箇所(宮古・八重山含む)
小 計	5,933,787円	94件(87名)
(その他)		
消耗品費	1,320円	
通信運搬費・燃料交通費	12,656円	お礼状送付切手・高速料等
支払い手数料	5,005円	
会議費	0円	基金運営委員会
小 計	18,981円	
合 計	5,952,768円	

【収支計】

収 入 計	29,179,515円
支 出 計	5,952,768円
繰 越 金 額	23,226,747円

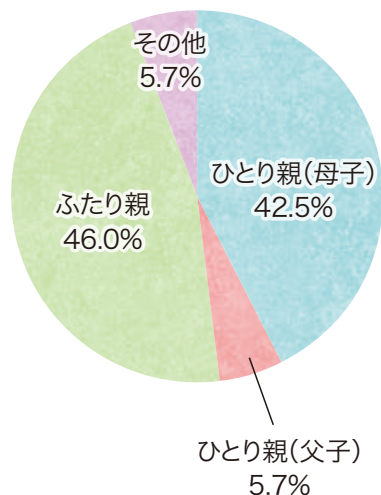
申請者地区別一覧

北 部	中 部	南 部	宮古・八重山	合 計
14名	24名	22名	27名	87名

北部地域	人数	中部地域	人数	南部地域	人数	宮古・八重山地域	人数
本部町	1	宜野湾市	5	那覇市	7	宮古	4
金武町	1	沖縄市	7	豊見城市	1	八重山	23
大宜味村	1	うるま市	7	南城市	2		
国頭村	2	西原町	0	糸満市	0		
今帰仁村	1	北谷町	1	南風原町	0		
宜野座村	0	嘉手納町	1	与那原町	2		
東村	0	読谷村	2	八重瀬町	2		
恩納村	0	北中城村	0	久米島町	6		
伊平屋村	0	中城村	1	渡嘉敷村	0		
伊是名村	0			座間味村	0		
伊江島村	0			栗国村	0		
名護市	8			渡名喜村	0		
				北大東村	0		
				南大東村	0		
				浦添市	2		

申請者世帯別割合

1	ひとり親（母子）	37件
2	ひとり親（父子）	5件
3	ふたり親	40件
4	その他	5件



主な申請機関

- 生活困窮者自立支援事業（離島含む各市町村）
- 高教組（各学校の先生方）
- 社会福祉協議会
- ゆいはあ〜と（南中北部）
- 母子生活支援施設
- 労福協自主事業
- 離島を含む各市町村窓口

労働者福祉事業をつうじた社会貢献

●本取り組みによる寄付金の贈呈については2021年9月以降に予定しております。

ろうきんの取り組み

◆ 社会貢献寄付商品による基金の安定運営支援

ろうきんでは、ご利用いただいたお客さまの笑顔が、同じ働く仲間や、その大切な人の笑顔につながるよう、社会貢献寄付商品を選定し基金の安定運営を支援しています。2020年度につきましては、下記の社会貢献寄付商品の新規取扱い1件につき200円を〈ろうきん〉が負担し、総額1,086,800円(5,434件)の寄付金を拠出します。2016年度からの累計で、5,974,200円の寄付金を拠出し、基金の安定運営を支援しています。

対象商品の新規ご契約1件につき、200円を当金庫が負担し、本基金へ拠出します。

預金商品・ 私的年金制度商品	財形貯蓄、エース預金、iDeCo（イデコ※個人型確定拠出年金）
融資商品	教育ローン、福祉ローン、カードローン、自動車ローン

◆ わしたシマづくり運動

沖縄ろうきんATM、または提携するイオン銀行ATMやセブン銀行のお取り扱い（お引き出し・ご入金取り引き1件につき2円）に応じて、寄付金額を積み立て、地域で活躍する非営利団体等や「ろうきん こくみん共済 coop働く仲間のゆめ・みらい基金」へ寄付することでその活動を支援しています。

2020年度実績 939,533件（非営利団体：1,300,000円、基金：579,066円）

こくみん共済 coop〈全労済〉沖縄推進本部の取り組み

◆ 共済商品利用、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場と連携した安定運営支援

すべての共済商品（慶弔共済・自賠責共済を除く）の新規契約件数に対して1件あたり100円の寄付金を実施しており、2020年度の寄付金は1,363,800円となりました。

また、こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会の各指定整備工場では、組合員の年間車検入庫台数に応じた寄付を行っています。2020年度は1台あたりの寄付金を100円から200円へ増額し、総額976,800円となりました。

※こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場については、P13をご覧ください。

対象商品例

こくみん共済	総合医療共済	せいめい共済
マイカー共済	住まいる共済	火災共済・自然災害共済
交通災害共済	団体生命共済	新団体年金共済

子どもたちに笑顔をひろげたい!

沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」は、車検入庫1台あたり200円を子どもたちの未来のために寄付します。



沖縄県内の「こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場」で車検を受けていただくことにより、沖縄の子どもたちの支援に役立つことができます。

★与那原町に新たな指定整備工場ができました!!

那覇市 (資)新開自動車商会 〒900-0011 那覇市上之屋311 ☎ 098-868-2821 エネオス天久店給油所隣 (有)久茂地オートサービス 〒900-0015 那覇市久茂地2-24-1 ☎ 098-861-7482 ゆいレール美栄橋駅北口 豊見城市 海邦オートサービス 〒901-0231 豊見城市豊見城666番地 ☎ 098-987-1434 国道256号豊見城交差点を西へ約100m 浦添市 (株)ヒーロー 〒901-2101 浦添市西原6-1-6 ☎ 098-878-4444 和風亭酒造西原1-3-3 人権くるまや三和自動車(株) 〒901-2101 浦添市西原1-3-3 ☎ 098-877-2107 パークレーズコート道向かい	浦添市 (株)東日産自動車 車検のコバック浦添店 〒901-2125 浦添市仲西1-7-1 ☎ 098-877-4003 キャンピングカー併設1ゲート向かい 南風原町 (株)大橋自動車販売 〒901-1104 南風原町宮平345-1 ☎ 098-888-2411 ジャスコ南風原店隣接道向かい (株)南風原整備センター 〒901-1111 南風原町兼城526 ☎ 098-888-1111 マックスバリュ―日橋店向かい (株)輝自動車サービス 〒901-1117 南風原町字津嘉山1162-1 ☎ 098-889-8810 南風原高校隣 与那原町 NEW (有)与那原自動車整備センター 〒901-1302 与那原町上与那原493-2 ☎ 098-945-8181 与那原警察署より南西約200mの交差点を西へ100m (株)ラッキー自動車商会 〒901-0417 八重瀬町外郎169-1 ☎ 098-998-8600 南部徳島の病院向かい	南城市 (有)愛地モータース 〒901-0617 南城市玉城字愛地362-1 ☎ 098-949-7641 稲嶺十字路を南西小学校向かい1.5km先右 糸満市 南部モータース 〒901-0303 糸満市兼城339-1 ☎ 098-994-6200 TSUTAYA糸満店2階南 北中城村 照屋自動車整備工場 〒901-2304 北中城村屋敷原226 ☎ 098-932-0147 ライカム交差点から西へ約150m先 西原町 (合)富山自動車販売 〒903-0129 中頭郡西原町千原58-1 ☎ 098-946-6468 動物病院22号近く (有)東日産自動車 車検のコバック西原店 〒903-0121 中頭郡西原町字内間480-2 ☎ 098-917-1033 ハートライフ病院近く	沖縄市 宮平自動車整備工場 〒904-0006 沖縄市八重島2-12-17 ☎ 098-937-9496 市民会館近く、中部観光バス左隣 うるま市 比嘉自動車整備工場 〒904-2224 うるま市大田500 ☎ 098-973-5407 うるま警察署南側向かい 北谷町 ロータスゲイトワン整備工場 〒904-0111 北谷町砂辺365 ☎ 098-936-2130 第一ゲート部、センターサービス給油所隣 嘉手納町 (有)ナカダ自動車商会 〒904-0205 嘉手納町字兼久370-1 ☎ 098-956-4602 ネーブルカテナ道向かい 読谷村 喜友名自動車サービス 〒904-0322 読谷村波平1628 ☎ 098-958-4885 タウングラザから西へ約500m先を南へ約100m先	名護市 (株)北部自動車工業(オートザム北部) 〒905-0006 名護市宇茂佐1607 ☎ 0980-52-0393 スーパーホテル名護を西へ約500m先 宮古島市 ロータス東和オート 〒906-0012 宮古島市平良字西里894-2 ☎ 0980-73-0505 B1G1からメイクマン向かい300m右側 (株)エコ・ビット 〒906-0015 宮古島市平良字久員686-7 ☎ 0980-72-2045 ファミリーマート久員店隣 石垣市 仲嶺自動車整備工場 〒907-0002 石垣市真栄屋448-1 ☎ 0980-83-1639 八重山保健所西隣 ロータス宮良自動車 〒907-0004 石垣市登野城869-5 ☎ 0980-82-2216 「あこう本」斜め向かい
---	--	--	--	---

●車検整備を受けられる際には、「こくみん共済 coop〈全労済〉の組合員です」と申し出てください。●サービス内容は工場によって異なります。詳しくは工場にご確認ください。●電話番号をお確かめのうえ、おかけ間違いにご注意ください。

働く仲間

“ゆめの実現”
“みらいの安心”につながる
ろうきん・
こくみん共済 coop〈全労済〉
商品の利用

支援を受けた人が「働く仲間」として参画

一人はみんなのために、
みんなは一人のために
ささえ合うしくみ

ゆめ・みらい基金

子どもを持つ働く人、
働きたい人を支えることで、
子どもたちを笑顔に

ろうきん・こくみん共済 coop〈全労済〉

(推進委員会と連携した運動)

- ・社会貢献寄付商品の利用に応じた基金への寄付
- ・共済商品(一部を除く)の利用に応じた基金への寄付
- ・こくみん共済 coop〈全労済〉指定整備工場沖縄県協議会による寄付



ろうきん
55TH
Anniversary

「共助」が「共感」により支えられ、「循環」する共生社会へ



お父さん、お母さんが笑顔じゃないと、 子どもたちを笑顔にできない



ゆめ・みらい基金による支援を受けられた方へ

ゆめ・みらい基金は、仕事や子育てに励みながらも困難を抱えて生活している家庭への支援として「子どもたちの夢と未来を支えたい」「働く仲間を働く仲間の手で支えたい」といった働く仲間たちの思いが詰まった基金です。

ゆめ・みらい基金での給付と関わっている支援者のサポートを組み合わせることで「働くこと」や「安定した生活」、子どもたちの「ゆめ・みらい」への1歩につながっていきます。そして、支援を受けた方の生活が安定し「次は支える側へ」という支援の循環を生み出すことが、同じように困難を抱える方を支える“心と心をつなぐ連帯の力”となります。ぜひ、本冊に掲載されている0150運動(定額自動寄付)や〈ろうきん〉・〈こくみん共済coop〉の取り組みを読んでいただき、出来る範囲で“心と心をつなぐ”共助拡大の運動にご参画ください。

基金を支援しているみなさまへ

はじめに0150ゆめ・みらい運動への参画をはじめ、日頃より支えてくださっている皆様に心より感謝申し上げます。皆様からの心のこもったご支援が、多くの困難な状況の中にいる方々の生活の改善に繋がっています。皆様一人ひとりのできる範囲の協力が、大きな力になり、子ども達の自立への一助となっています。

「子どもは、沖縄の次世代を担う宝です。」

運営事務局として、皆様の思いのこもった本基金を大切に活用し、子どもたちが辛い環境で多くのことを諦めることが無い社会、誰もが夢や希望を持ち、みらいへの可能性を広げられる社会となるよう取り組んでまいります。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

基金運営事務局 (公財)沖縄県労働者福祉基金協会



2016年9月、会員団体・県内各労働団体とともに、「ろうきん働く仲間のゆめ・みらい基金」を創設しました!



生活困窮者自立支援事業へ緊急食糧支援



沖縄ヤマト運輸労働組合より贈呈式

私たちは、子どもの夢と未来を支える取り組みを共にすすめています

2019年度 団体寄付一覧

全糖労石垣島製糖支部
地域むすびくらぶ
全駐留軍労働組合沖縄地区本部
沖縄電力生活協同組合
沖縄県教職員組合八重山支部
沖縄電力労働組合 名護分会
琉球セメント労働組合
沖縄県教職員組合国頭支部
沖縄電力労働組合
ろうきんおもしろまち地区推進委員会
沖縄県教職員組合島尻支部
マルナ産業労働組合
沖縄県教職員組合那覇支部
琉球新報放送労働組合
(公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
琉球製缶労働組合
ありあけ保育園互助会
全糖労久米島製糖支部
ホテルアリビラ労働組合
沖縄県職員退職者会
西表島交通労働組合
北部地区労働組合協議会
沖縄プラント工業労働組合
沖縄ブルーシール労働組合
北谷町職員労働組合
沖縄電力関連産業労働組合総連合
県職連合宮古支部 青年部
運輸労連沖縄県連合会
ろうきん普天間地区推進委員会
読谷村職員労働組合
ろうきんコザ地区推進委員会
全労済沖縄推進本部(防災カフェなんじょう)
ろうきん本店地区推進委員会
沖縄国際大学事務職員労働組合
スーパー 駅伝大会実行委員会
ろうきん八重山地区推進委員会
自治労宜野湾市職員労働組合書記局
沖縄県労働金庫労働組合
本店・おもしろまち地区推進委員会
ろうきん具志川地区推進委員会

ろうきん浦添地区推進委員会

沖縄県教職員組合
日本労働組合総連合会沖縄県連合会
航空連合沖縄
全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
社会福祉法人名護市社会福祉協議会互助会
全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合
沖縄ヤマト運輸労働組合
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合 北部支部

2020年度 団体寄付一覧

沖縄県教職員組合国頭支部
沖縄電力関連産業労働組合総連合
沖縄電力生活協同組合
マルナ産業労働組合
ハコニワ
沖縄県労働金庫労働組合
全糖労石垣島製糖支部
北部地区労働組合協議会
琉球セメント労働組合
沖縄県教職員組合那覇支部
沖縄県教職員組合八重山支部
北谷町職員労働組合
ダブルツリーヒルトン那覇首里城労働組合
沖縄ロジテム労働組合
中村敦司法書士事務所互助会
読谷村職員労働組合
沖縄県教職員組合島尻支部
(公財)沖縄中部勤労者福祉サービスセンター
沖縄県教職員組合
沖縄県職員退職者会
全日本港湾労働組合沖縄地方本部検数部会
西表島交通労働組合
自治労沖縄県本部
運輸労連沖縄県連合会
沖縄プラント工業労働組合
那覇市職員労働組合
那覇市会計年度任用職員等労働組合
全糖労久米島製糖支部
社会福祉法人名護市社会福祉協議会互助会
沖縄電力労働組合 名護分会
ろうきん北部地区推進委員会

沖縄県職連合北部支部
沖縄ヤマト運輸労働組合
全日本国立医療労働組合沖縄地区協議会
全日本たばこ産業労働組合沖縄支部
全駐留軍労働組合沖縄地区本部
沖縄県高等学校障害児学校教職員組合

2021年度 団体寄付一覧 7月末現時点

マルナ産業労働組合
自治労宜野湾市職員労働組合
琉球セメント労働組合
沖縄電力生活協同組合
那覇市職員労働組合
那覇市会計年度任用等職員労働組合
沖縄県教職員組合国頭支部

定額自動寄付による支援団体

沖縄県労働金庫労働組合
沖縄電力労働組合
沖縄県職労 北部支部
オリオンビール労働組合
高教組 北部支部
沖縄県職労宮古支部
全糖労宮糖支部
全糖労沖縄製糖支部
冲教組 宮古支部
沖縄電力労八重山分会
自治労石垣市職労
八重山地区労友の会
やんばる麦の芽会
イオン琉球労働組合
自治労連宮古島市職員労働組合
沖縄プラント工業労働組合
沖縄県労働金庫共済会
那覇市職労 水道支部
地域むすびくらぶ
NPO法人 街のえんがわ山桃
全労済労働組合九州支部沖縄分会

支援団体(預り保育場所提供)

宜野湾ナザレン協会

新型コロナウイルス感染症の影響により食糧支援が必要となった子どもたち(養育世帯)への緊急支援を行いました

「ろうきん こくみん共済coop 働く仲間のゆめ・みらい 基金」では、長引く新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける、子どもたち(養育世帯)への緊急支援として、各支援機関に対し、食糧支援を行いました。これらの食糧は支援機関を通して、子どもたち(養育世帯)へと届けられます。



提供した食糧 564,360円

- お米 1,100キロ(5kg×200袋・1kg×100袋)
- お米券 260枚

取組期間

2021年4月～5月
各支援窓口がストップする大型連休(GW)前に実施

配布先

- 生活困窮者自立支援事業 13か所
- 母子生活支援事業 7か所
- 離島(宮古・石垣)支援機関 2か所



1	沖縄県 就職・生活支援パーソナルサポートセンター南部
2	沖縄県 就職・生活支援パーソナルサポートセンター南部支所
3	沖縄県 就職・生活支援パーソナルサポートセンター中部
4	沖縄県 就職・生活支援パーソナルサポートセンター北部
5	名護市 くらしと仕事の応援センターさぼんちゅ
6	うるま市 就職・生活支援パーソナルサポートセンター
7	沖縄市 就職・生活支援パーソナルサポートセンター
8	宜野湾市 児童家庭課
9	浦添市 自立サポートセンター・てだこ未来
10	那覇市 就職・生活支援パーソナルサポートセンター
11	豊見城市 就職・生活支援パーソナルサポートセンター
12	南城市 就職・生活支援パーソナルサポートセンター
13	糸満市 くらしのサポートセンターきづき
14	沖縄県 マザーズスクエアゆいはあと
15	マザーズスクエアゆいはあと・中部
16	マザーズスクエアゆいはあと・北部
17	浦添市 母子生活支援施設 浦和寮
18	那覇市 母子生活支援センターさくら
19	うるま婦人寮
20	NPO法人ファミリーサポート・愛さん会
21	石垣市 こども未来局
22	宮古島市 福祉政策課

社会を支えるすべての働くみなさまへ、
“ありがとう”の気持ちを込めて

ウェル ビーイング
Well Being
共助で応援 共感をここから
持続する幸せへ!

低金利の社会貢献寄付商品を利用させていただくことで本基金への寄付金拠出につながり、また、コロナ禍における家計支援として「意志ある優しいお金の循環」が生まれます(自動車ローン・教育ローンが対象となります)。

55TH
Anniversary

沖縄ろうきん 設立55周年記念

今こそ生活応援!!

金利引下げキャンペーン

キャンペーン金利適用条件

マイプランまたはQカードみらいのご契約 ※既契約者も含む

キャンペーン期間
2021年7月12日(月)
2022年4月30日(土)

自動車ローン

年0.9%~

教育ローン

年1.2%~

マイプラン
(カードローン)

年5.1%~

マルイチゴウマル 〈0150 ゆめ・みらい運動!〉に ご参画をお願いします!

マルイチゴウマル

〈0150 ゆめ・みらい運動!〉とは、「1人一口50円(月額)の寄付で、沖縄の子どもたちの夢と未来を支えよう!」というもので、本基金を通じ、「子どもの貧困」とその根底にある「親の貧困」問題の改善・解決をめざす運動です。〈ろうきん〉の普通預金口座をお持ちの方なら「定額自動寄付」※のお申し込みをいただくことで、どなたでもご参画いただけます。

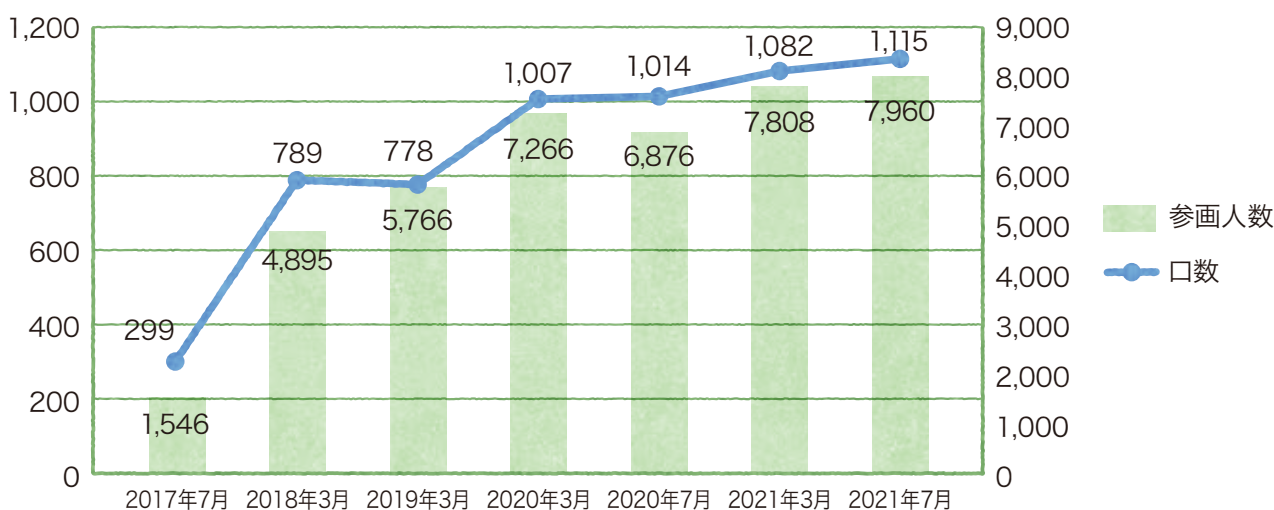
2020年度は、〈ろうきん〉各地区推進委員会や友の会、労働団体の取り組みにより累計4,320,850円(2020年4月～2021年3月)の寄付がよせられ、2021年3月現在では「7,808口(月額390,400円)」のお申し込みをいただいております。運動に参画いただきましたみなさまに、心より感謝申し上げます。

〈ろうきん〉と〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉では、基金の安定運営に向け「10,000口(月額50万円)」を目標に今後も運動を展開していきます。「10,000口」を達成することができれば、基金の安定運営が実現するだけでなく、会員や協力団体の意見・要望を叶えるカタチでの支援の拡充につなげることができると考えています。

※「定額自動寄付システム」＝ 毎月ご希望の寄付額(1口50円とした定額)を、ご指定のろうきん口座から自動振替により基金へ寄付する制度。

目標 1万口!
(月50万円・年間600万円)

達成することで、基金の安定運営と、
会員・協力団体の希望を踏まえた支援の拡充につなげよう!



各会員・協力団体構成員(組合員・共済会員等)への参画の呼びかけについて

「定額自動寄付システム」は、多くの方が無理なく(缶ジュース1本程度の節約で)参画できるように、一口あたりの申込み額を50円としました。また、「支えられた人が、支える側として参画しやすいように」という思いも込めた設定額としています。

引き続き多くの会員・協力団体の構成員のみなさまに「ろうきん こくみん共済 coop 働く仲間のゆめ・みらい基金」を知っていただき、「共助の輪」を広げる取り組みへご参画いただくため、各組織の定期大会(総会)議案書や機関誌へ基金の関連情報を掲載いただき、構成員のみなさまへ参画を呼びかけていただきますようお願いいたします。

(〈沖縄ろうきん〉・〈こくみん共済 coop(全労済)沖縄推進本部〉・〈沖縄県労福協〉)のホームページにも基金に関する情報を掲載しています。どうぞご活用ください。



働く仲間のゆめ・みらい基金

**本用紙に必要事項を記入いただき、
お近くのろうきんまでご提出ください。**

お申込みいただいた内容にもとづき、ご希望の寄付金額の登録を行います。
事務手続きのため、開始まで約1ヶ月程度かかることがあります。

お申込みいただいた内容で、ご寄付を開始します。振替日は25日です。25日がろうきんの休業日の場合は翌営業日になります。

通帳でご寄付内容をご確認ください。
通帳には「ユメ ミライキキン」と印字されます。

※なお、ご希望された方の領収書については、毎年2月に前年1年分を取りまとめ、送付させていただきます。

ご辞退や金額変更等は、届出をいただいてからろうきんの引落しが中止（変更）になるまで1ヶ月ほどかかります。お早めにお届けいただきますよう、お願いいたします。

✂
キ
リ
ト
リ
線

〒900-0021 沖縄県那覇市泉崎1-20-1カフーナ旭橋A街区6階 TEL:098-860-7845 FAX:098-894-7835